

市立

小諸高原美術館・ 白鳥映雪館

初日はオープニングマルシェも開催



海野和男 写真展 - 昆虫顔面博覧会と不思議の虫 -



【写真】ハナカマキリ

小諸市にアトリエを構える世界的昆虫写真家・海野和男氏が撮影した昆虫たちの写真作品展を開催します。

第1展示室では「昆虫顔面博覧会」と題し、海野氏が長年撮り続けている昆虫の顔をアップにした写真を展示。そのほか、二十代の若手写真家8名による展示「Next Generation」も見どころです。

第2展示室ではナナフシを中心に、様々な変わった昆虫たちの姿をみることができます。

同時に、「2024 生きもの写真リトルリーグ」の選出作品も展示します。小中高校生による様々な視点で撮影された魅力あふれる生きものの姿をお楽しみください。

▶日 時 7/21(日)～8/18(日) ▶時 間 9:00～17:00

▶観覧料 一般500円、高校生以下無料

▶休館日 7/22(月)・29(月)、8/5(月)・12(月)

▶会期中のイベント

○7/21(日) オープニングマルシェ、コンサート、ギャラリートーク

○8/3(土) 10:00～ 生きもの写真リトルリーグ本選

○8/3(土) 14:00～ Next Generation ギャラリートーク

〒 市立小諸高原美術館・白鳥映雪館 ☎ 26-2070

昆虫写真家

海野和男の小諸日記

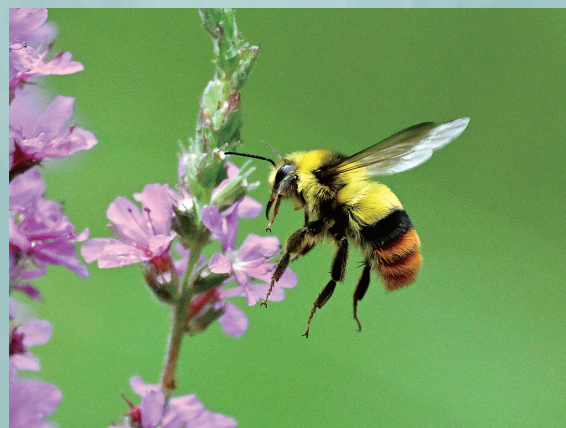
マルハナバチ



マルハナバチは、丸っこいハチで、小諸など涼しい地域に多いハチだ。ヨーロッパにも多いので、海外の絵本に登場するハチは、ほとんどがマルハナバチだ。

手で掴めばメスは刺すが、ミツバチのような攻撃性は無く、触ったぐらいで刺すこともない。オスは針もなく、本当に可愛いハチだ、前に写真展でマルハナバチの写真を展示したら、カナダ人が可愛いと言ってくれた。その方は虫好きではないが、どうして日本ではみなさんハチを怖がるのだろうと、不思議がっていた。カナダではマルハナバチは花壇にくる可愛い隣人なのだそう。日本ではハチといえばスズメバチやアシナガバチをイメージする人が多く、彼らは実際襲ってきたりするるのでやっかいだ。

小諸には7～8月に多い写真のクロマルハナバチのオス以外に、コマルハナバチ、トラマルハナバチなどがいて、季節により多いマルハナバチの種類も異なる。



隣地との境界を明確にして お互いすっきりとしましょう!

土地の境界／土地の境界には筆ごとの範囲を公的に区分する「筆界」と、所有権の及ぶ範囲を区分する「所有権界」があります。一般にはこの両者は一致するものですが、所有権界は当事者間の合意や時効取得などにより変動することがあり、筆界と相違する場合もあります。

最新のGPS(衛星からの)測量技術で正確さを競っています。

お気軽にお電話ください
TEL0267-22-9491

土地家屋調査士 川上 陽次郎
(株)ユーアール測量設計代表

緑の丘にふれあいの鐘が鳴る やまびこ園



障害者グループホーム

障害者支援施設

軽費老人ホーム

デイサービスセンター

認知症対応型グループホーム



社会福祉法人 小諸青葉福祉会

小諸市大字柏木1328
☎ 0267-23-9515